凡事徹底(縁)

八代第一中学校
生徒指導通心
第16号　2023.9.15（金）

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践　　綱領：至誠貫徹･真理探究･耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦　一中プライド～

「夢実現・自己実現」に向けて、本気になる力・やりきる力は一生の財産です～

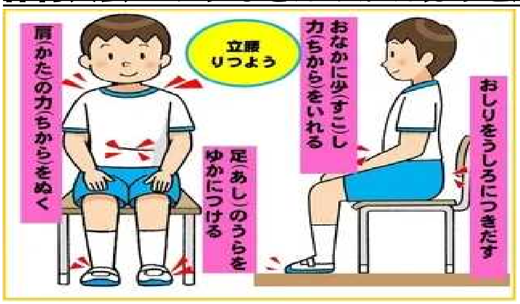
７０７名の一中生が同じ方向を向いています。縦・横・斜めの列がそろい、「心」が一つになりました。一中生の「力」、集団の「美」に感動しました。体育大会実行委員会、体育委員、応援リーダー、ダンスリーダー、各競技のクラスリーダー、テーマ看板制作班、学級旗制作班、最後まで会場設営の取り組んだ部活動生など、多くの生徒たちがリーダーシップを発揮し頑張っていました。さらに、全ての１中生が、しっかりと最後まで心を一つにやりきることができました。その一生懸命な姿が本当にかっこよかったです。これまで、その過程においては、集団をまとめることの難しさを一人一人が感じていたことでしょう。それもまた、今後に向けた貴重な経験となります。中学校の体育大会は、練習期間が非常に短いのですが、『限られた時間の中で最大限に成果を出す』ことを意識しながら、長期、短期の目標を設定し、「タイムマネジメント」を行ってきた経験も、今後の生活に生かされてくることだと思います。

みなさんが学習する道徳の教科書の中で、イチロー選手は、技を磨く一流とは、**「誰にでもできることを、誰もができない情熱を持って本気で取り組めること」**と語っています。一流とは遠くにあるものではなく、身近にあるものです。「挨拶の一流」、「返事の一流」、「人の話を真剣に聴くことができる一流」、「整理整頓の一流」、「仲間の思いに気づける一流」、「仲間の個性を引き出す一流」、「仲間を支える一流」。思い返してみると、この体育大会の取組期間を思い返してみても、大切なことはたくさん身近に溢れていました。

この二週間、体育大会に向けての盛り上がりの中、みなさんの学校生活には活気が見られました。しかし、ここから先は、「盛り上がり」と「浮かれる」の違いをはっきりと認識する必要もありました。浮かれてしまうと、周りが見えずに自分勝手な言動をしたり、足下をすくわれたりすることだってあります。体育大会で培った、「リーダーシップ＋メンバーシップ」を大切にし、次の目標に向けて、一中生７０７名、心を揃えて動き出しましょう。

「夢実現・自己実現」コーナー　～「立腰」には、次のような効果があります～

体育大会でのみなさんのがんばりと成長を生かして、授業に一生懸命取り組みましょう!!



【教室での正しい話の聞き方】

①やる気がおこる　　②集中力がつく
③持続力がつく　　④行動が機敏になる
⑤内臓の働きがよくなり健康になる
⑥精神や心身のバランスがよくなる
⑦身のこなしや振る舞いが美しくなる
⑧頭脳がすっきりと整理される
⑨礼儀正しい姿勢が身につき感謝の心が芽生える
※７０７名の、更なるレベルアップを期待しています